

宮城県立こども病院 新人看護技術強化研修 フィジカルアセスメント

8月20日、23日に宮城県立こども病院の新人看護師20名を対象としたフィジカルアセスメント研修がクリニカル・スキルスラボで開催されました。講師は同じく宮城県立こども病院の看護師の方々でした。今回の研修目標は、呼吸音と心音について、正常・異常の読み取りを経験することと、症状から患者に何が起きているのかをグループでアセスメントすることでした。

参加者は10名ずつ2グループに分かれ、聴診とフィジカルアセスメントの演習を実施しました。聴診では心臓病診察シミュレータ【イチロー】と呼吸音聴診シミュレータ【ラング】を用いて心音呼吸音の聞き取りを実施しました。指導の看護師が対面で付き、聴取部位や音の特徴についてアドバイスしながら進めており、参加者は理解が深まったようでした。

一方のフィジカルアセスメントでは、高機能小児シミュレータ【Sim Junior】を使用し、シミュレータが表す症状や、モニターに表示されるバイタルから読み取れることを考え、またそれを受けてどういった介入ができるかなど判断までの一連の過程を参加者同士で話し合いながら演習を進めました。

最後は全員で研修のまとめをし、終了しました。この研修で学んだことが、今後の看護技術向上の一助となれば嬉しく思います。